



令和5年度 事業報告書

社会福祉法人 矢吹厚生事業所

自 令和5年4月1日

至 令和6年3月31日

令和5年度 事業報告

○生活保護授産事業

生活保護授産事業では、昨年同様何らかの事情により通所が困難な利用者に対して、家庭内授産の提供を行うなど、柔軟性のある取り組みを行った。また、ひきこもりや依存症、制度の狭間で課題を抱える方々に対しても、福祉事務所の職員、支援員と連携を図りながら、自宅訪問や面談など直接的な働きかけを行い、本人の働く意欲の向上、地域とのつながりの場として、問題解決の動機付けとなるよう取り組みを行った。また、利用者の作業訓練や生活指導なども円滑に進めることが出来た。

機能強化促進事業として、今年度も利用者のビジネスマナー研修を開催し、基本的マナーや社会性などについて学ぶことが出来た。

○就労継続支援B型事業

就労継続支援B型事業では、「働く×くらす」をベースに、より生活が豊かで楽しく暮らせるよう、障がいや理由としない、一人一人が自覚と自信を持ち、様々な経験から視野が広がるような取り組みを行った。

一人一人が、個人→チームで行動出来るようになり、会話も増え、それらが生産活動にも繋がる結果となった。今年度の平均工賃額は、昨年度をさらに8,957円上回り50,987円という好成果となった。高工賃の実現は利用者の自己肯定感の向上、やりがいにも繋がったが、その反面、障がいの有無について悩む声や、お金を無心される者、お金を得てもその価値が分からない者など、高工賃を得ることで新たな課題も増えてきた。

「わーくるぷらす」弁当和来の運営は今年度も順調に推移し、更なる顧客の獲得や地域からの信用や認知度等、少しずつではあるが「店舗」として浸透してきたと実感できる年となった。その背景には、管理栄養士をはじめとする職員の徹底した衛生管理や店舗実践、魅力のある献立作りなど、見えない部分での努力の成果だと感じている。

今後も、HACCPに基づく衛生管理の徹底は永続的に強化していき、店舗販売における実践を通じて、利用者獲得、利用者支援の充実、更なる顧客獲得につなげられるよう、「食べる幸せ、つながる支合わせ」をモットーに地域を巻き込みながら活動出来るよう創意工夫していきたい。

○生活訓練事業

生活訓練事業では、日中活動のプログラムを充実させ、一人ひとりのリズムが図れるようメリハリのある支援を行った。SSTプログラムやロールプレイングなど実践的に社会性などを学ぶ機会を増やし、利用者一人ひとりが自信を持って社会参加できるよう包摂的な支援を継続的に行うことが出来た。作業訓練にも力を入れ有限である2年後を見据え、内職作業や施設外就労などのプログラムも実践的に行うことが出来た。また、支援学

校からの見学や実習の受入れ等も積極的に行った。

○相談支援事業(特定相談支援事業・一般相談支援事業)

相談支援センターやぶきでは、障がい福祉サービスを総合的に利用できるよう、基本姿勢に基づき初回面談やアセスメント、計画相談やモニタリング等を行った。受持ち相談件数は156件に上るが、煩雑な業務とは相反してサービス等単価の低さ、モニタリング等の見落とし等もあり昨年より減収となった。相談員一人体制での管理には限界があるため、次年度は複数人での対応も視野に検討していきたい。新規受入れに関しては、迅速に対応し柔軟性のある業務を行うことが出来ていた。

一般相談支援事業では地域移行支援や地域定着支援を行い、利用者が住み慣れた地域で当たり前の暮らしができるよう、24時間緊急時サポート体制などの対応を行ってきた。また、中島村からの委託相談では、対象者のサービス調整や基本相談等を行った。また、近隣市町村及び地域の関係機関との連携を図り、各種会議や研修への参加も高い資質向上に努めた。

重点実施事項

① 人材育成

今年度も、職員の資質向上を図るため、外部講師を招きチームビルディング研修、人材育成研修を行った。職員が安心して働ける環境、楽しくやりがいを持ちキャリアアップができる環境を整えるなど創意工夫を行うが、「就労」と「福祉」を両立しながら働ける職員の育成に苦慮する。試用期間で退職してしまう職員も見立ち、人材育成のあり方も更なる検討が必要だと感じる年となった。

② リスクマネジメント

事業継続計画(BCP)の作成や、事業の継続または復旧を図るための手順書等(マニュアル)の作成、整備を行った。(現在も一部作成中)

また、事故発生時の対応や安全確保についても迅速かつ誠実な行動が取れるよう、万が一に備えて、防災・防犯管理委員会と一緒に企画等を行い、定期的に災害時を想定した避難訓練や防犯訓練を行った。

6S活動では定期的な声掛けや啓発活動を行い、第一土曜日を活用して普段できない場所や物などの整理整頓等を行った。

③ 委員会活動

職員が各委員会に分かれて一年間に渡り施設運営に役立つ活動を行った。反省点としては、委員会活動を行う時間がなかなか取れず、班によって内容や中身のウエイトにバラつきが見られた。メリットとしては、施設運営に参画できたことで、職員の主体性やマネジメント力、組織の活性化に繋がる良い機会となった。

I.施設の状況

1. 事業内容及び定員

① 生活保護授産事業(利用定員:20名)

生活保護法の該当者、又は、これに準ずる要保護者、
身体障害者手帳及び療育手帳の交付を受けた方で通所できる方。

② 就労継続支援B型事業(利用定員:50名)

一般企業等への雇用に結びつかなかった者や一定年齢(50歳)に達している者などで、福祉的就労、生産活動等を通じ知識及び能力の向上や維持が期待される者。

③ 自立訓練(生活訓練)(利用定員10名)

食事や家事等の日常生活能力を向上するための支援を行う。
日常生活上の相談支援または就労に結びつく支援を行う。

④-1指定特定相談支援事業(計画相談)

障がい(身体・知的・精神)の手帳交付者が障がい福祉サービス利用の申請若しくは変更の申請に係る支援を提供し、本人の生活及び活動を総合的に援助する。

④-2指定一般相談支援事業(地域移行・地域定着支援)

- ・障がい入所施設又は精神科病院に入院している者が、住宅の確保その他の地域における生活に移行するための活動に関する相談その他の必要な支援を行う。(地域移行支援)
- ・単身において単身等で生活する障害者につき、常時の連絡体制を確保し、障害の特性に起因して生じた緊急の事態等に相談その他必要な支援を行う。(地域定着支援)

2.利用対象者

- ・身体障がい者(肢体不自由・視覚・聴覚・言語・内部障がい)
- ・知的障がい者
- ・精神障がい者

3.サービス提供職員の配置状況

職 種	事業所名	職員数	生保授産事業	就労継続支援B型事業	自立訓練(生活訓練)事業	相談支援事業
			職員	職員	職員	職員
	施設長	1	1			
	サービス管理責任者	2	-	2(施設長兼務)	1(施設長兼務)	-
	職業指導員	10	2	8	-	-
	生活支援員	3	-	1	2	-
	目標工賃達成指導員	1	-	1	-	-
	事務員	1	1			
	相談支援専門員	1	-	-	-	1

4.就労活動種目

項目	品目・製品	摘要	売上(円)
縫製作業 (生保授産・就労継続支援B型)	ユニフォーム、白衣、エプロン、苗木保護ネット他	チトセ(株)、(株)サロジエ、(合)ナチュラルワークス、協栄樹脂製作所(株)、ウェーブクレスト(株)、日本マタイ(株)	10,045,246
自主製品 (生保授産・就労継続支援B型)	園児服、スモック、給食衣、エプロン、バッグ他	矢吹町内教育委員会、丘の上幼稚園、町内幼稚園、各種団体、施設内販売他	2,339,032
加工作業 (生保授産・就労継続支援B型)	住宅部品の袋詰め、車関係部品の組み立て、部品バリ取り、ゴム切作業他	(株)ジューキ、(株)東北トップ、(株)片山ゴム、(株)アイ・ディ・イー、日本パッキング工業(株)、(株)峯伸電子、JA夢みなみ、	4,705,806
施設外就労 (就労継続支援B型)	段ボール組立	加藤段ボール	9,282,462
	工場内清掃	TFO	
	トマト分別作業	JA夢みなみ	
	農作業	須賀川産直センター他	
	会田病院清掃作業	ヘルシーショップ	
弁当作業 (就労継続支援B型)	弁当、総菜製造販売	月極契約先: 県立光南高校、NP O法人太陽、全酪連酪農技術研究所、県立岩瀬農業高校、中島村役場、県立福島医療センターこころの杜、ヘルシーショップ、富士屋産業、中島村総合福祉センター、大野農園、レッツ倶楽部、ピュア、アイビー、(株)マテックス、牧場の恵み、ヤンマーアグリジャパン須賀川支店、鈴木農産、ムサシノ機器、東邦銀行、ヤマサ自動車整備工場、ヘアガーデンシュガー、矢吹町図書館、エルピス矢吹、牧場の恵み、個人宅30件	26,516,743
合計売上			52,889,289

5.お弁当注文個数について

	注文個数	配食サービス個数
平成29年度	19,239個	
平成30年度	32,584個	
令和元年度	40,550個	1,672個
令和2年度	37,383個	1,988個
令和3年度	39,291個	3,890個
令和4年度	39,328個	3,738個
令和5年度	53,796個	3,885個

6.障がい者相談支援事業(平成26年4月～)

	受持ち人数	相談延べ件数	売上(円)
平成26年度	156人	733件	6,265,150

平成27年度	191人	862件	8,882,060
平成28年度	198人	665件	8,121,930
平成29年度	200人	766件	6,416,120
平成30年度	175人	845件	8,328,480
令和元年度	173人	750件	5,693,310
令和2年度	179人	740件	4,518,630
令和3年度	174人	750件	4,157,560
令和4年度	178人	792件	4,283,860
令和5年度	163人	789件	3,392,830

Ⅱ.利用者の状況

Ⅱ.利用者の状況

1.各事業の定員及び現員 令和6年3月31日現在 (単位:人)

事業名	定員	現員(利用者数)
生活保護授産施設	20	15
就労継続支援B型事業	50	45
自立訓練(生活訓練)	10	9
計	80	69

2.月別現員数(令和5年4月1日～令和6年3月31日) (単位:人)

		月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
生保授産事業	初日の現員数	16	16	16	17	17	17	16	15	15	15	15	15	15	190
	入所数	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	退所数	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2
	月末の現員数	16	16	17	17	17	16	15	15	15	15	15	15	15	189
就労継続支援B型事業	初日の現員数	38	40	41	42	43	43	43	43	44	44	44	44	45	510
	入所数	2	1	1	1	0	1	1	1	0	0	1	0	0	9
	退所数	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2
	月末の現員数	40	41	42	43	43	43	43	44	44	44	44	45	45	517
自立訓練(生活訓練)	初日の現員数	13	15	14	14	14	13	13	11	11	11	9	10	148	
	入所数	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	4	
	退所数	0	1	0	0	1	1	2	0	0	2	0	1	8	
	月末の現員数	15	14	14	14	13	13	11	11	11	9	10	9	144	
月末の現員数		71	71	73	74	73	72	69	70	70	68	70	69	850	

3.障がい者手帳の内訳(主とした障がいを優先に表記)

R6.3.31現在

身体障害者手帳

(単位:人)

障害等級	1級	2級	3級	4級	5級	難病	計
生保授産事業	0	0	0	0	0	0	0

就労継続支援B型事業	1	2	1	0	1	0	5
自立訓練(生活訓練)事業	0	0	0	0	0	0	0
計	1	2	1	0	1	0	5

療育手帳 A…重度 B…中度 (単位:人)

障害等級	A	B	計
生保授産事業	0	0	0
就労継続支援B型事業	3	21	24
自立訓練(生活訓練)事業	0	1	1
計	3	22	25

精神障害手帳 (単位:人)

障害等級	1級	2級	3級	他	計
生保授産事業	0	0	0	0	0
就労継続支援B型事業	1	7	3	4	15
自立訓練(生活訓練)事業	0	4	3	0	7
計	1	11	6	4	22

4.主な障がい別 (単位:人)

障害別	身体	知的	精神	他	計
生保授産事業	0	0	0	0	0
就労継続支援B型事業	5	24	15	1	45
自立訓練(生活訓練)事業	0	1	7	1	9
計	5	25	22	2	54

5.性別・年齢

R6.3.31現在 (単位:人)

性別	区分	年代別								計	平均年齢
		10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代		
生保授産事業	男	0	0	0	0	2	1	3	0	6	61.5
	女	0	0	0	1	5	2	0	1	9	
	計	0	0	0	1	7	3	3	1	15	
就労継続支援B型事業	男	0	5	0	3	6	4	3	0	21	51.2
	女	1	2	3	2	8	5	3	0	24	
	計	1	7	3	5	14	9	6	0	45	
自立訓練(生活訓練)	男	1	1	1	0	0	2	0	0	5	39
	女	0	1	2	0	1	0	0	0	4	
	計	1	2	3	0	1	2	0	0	9	
合計		2	9	6	6	22	14	9	1	69	51